

先輩メッセージ

Senior Student Message

A1 幅広く学べるから、将来の選択肢が多い

幼稚園教諭であった母に憧れ、小さい頃から保育や教育の仕事に興味を持っていました。高校2年生の夏にオープンキャンパスに参加し、先輩方が楽しそうに創作ミュージカルを披露している姿を見て、「この大学で学びたい!」と強く感じました。幼児教育から小学校教育まで幅広く学べる点や、将来の選択肢が多いことも魅力です。

A2 自分自身が楽しむことを意識

共通テスト後は、小論文の練習と実技試験対策に力を入れました。保育の場面の絵をたくさん描いたり、幼児向け教育番組を観て表現力を磨いたり、高校の音楽の先生に課題曲を指導してもらいました。試験では「自分自身が楽しむこと」を意識し、最後まで自分を信じて挑みました。



学校教員養成課程 幼児教育専攻3年 愛知県立名古屋南高等学校出身



A1 教育について考えを深められる環境

教育について自分の考えを深められる環境があると確信し、愛知教育大学を志望しました。理論と実践の両方を学べる点に魅力を感じ、オープンキャンパスで学生同士が活発に議論し合う姿を見て、自分もここで成長できると期待しました。自宅から通いやすく、学費面でも負担が少ないことも決め手でした。

A2 “好き”を大切に、積極的に!

教育に関する最新の話やキーワードを調べて意見をまとめたり、専門書を読んで自分の思考の軸をつくる努力を続けました。友人とディベートを行い、考えを言葉にする力も鍛えました。共通テスト対策は基礎をしっかりと固めることを意識。自分の“好き”を大切に、興味を持ったテーマは積極的に調べてみてください!

学校教員養成課程 学校教育科学専修3年 私立名城大学附属高等学校出身

A1 実際の現場で先生の姿や工夫を学べる

教員を目指している仲間が集まる環境で、夢に向かって学びを深められると感じたからです。教員採用試験の合格率が高く、キャリア支援課のサポートも充実している点が魅力でした。学校等体験活動やボランティアを通じて、子どもたちと関わる機会が多く、実際の現場で先生の姿や工夫を学べることも決め手でした。

A2 優先順位をつけて苦手を克服

苦手科目をなくすことを意識し、夏休みには計画表を作り優先順位をつけて克服しました。英語は毎日リスニング、数学は記述対策を中心に練習。推薦対策では先生方に何度も志望理由書や面接練習をしてもらい、仲間とアドバイスをしながら力を伸ばしました。過去問にも取り組み、ノートにまとめて試験に臨みました。



学校教員養成課程 算数・数学専修3年 愛知県立春日井高等学校出身

Q1 なぜ愛知教育大学を選びましたか？

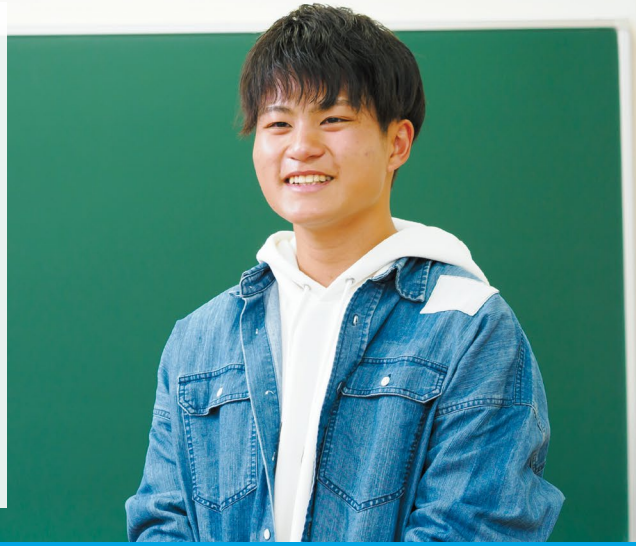
Q2 どんな受験対策をしましたか？

A1 国語教育について深く学びたい

高校時代、担任の先生が最後まで寄り添い支えてくれた経験から、「自分もそんな先生になりたい」と教職を志しました。愛知教育大学は現場実習が多く、先生方や子どもたちの様子を実際に見て学べる環境が魅力です。国語教育について深く学び、研究できる点も進学を決め手でした。

A2 疑問をそのままにせず、必ず調べる

共通テスト対策では、疑問をそのままにせず、分からない単語や熟語は必ず調べることを心掛けました。二次試験対策では、国語の先生と教育課題や教職への思いを話し合い、小論文の内容を整理。演習量だけでなく質にもこだわり、先生との対話から多くの知識を得て試験に臨みました。



学校教員養成課程 高等学校教育専攻 国語・書道専修 3年 岐阜県立大垣東高等学校出身



学校教員養成課程 特別支援教育専攻 3年 愛知県立ひいらぎ特別支援学校出身

A1 多様な免許取得が可能な点に魅力

障害のある子どもと関わる仕事に就きたいという思いから、特別支援教育を体系的に学べる大学を探し、愛知教育大学にたどり着きました。手話や点字など専門的な内容まで深く学べる環境や、尊敬する先生方がこの専攻の出身だったことも大きな決め手です。多様な免許取得が可能で、実践的な活動も充実している点に魅力を感じました。

A2 自分の軸を持つことが大切！

特別支援教育専攻は面接が必須なので、面接対策に力を入れました。教員を志望する理由や特別支援教育への思いを先生と対話しながら深掘りし、自分の考えを整理しました。入学後の学びや目標も明確にし、どんな質問にも自分の言葉で答えられるよう準備しました。自分の軸を持つことが大切です。

A1 教員と学生の距離が近い

子どもたちの健康をサポートする養護教諭を目指し、愛知教育大学の教員の研究内容に強く惹かれました。教員と学生の距離が近い点も魅力で、実際に自分の興味に合った分野で学べると感じたため受験を決意しました。通いやすさや、養護教諭専攻の充実も決め手でした。

A2 集中して勉強できる環境選び

学校推薦型選抜と一般受験の両方に備え、共通テストは模試や演習問題を繰り返し解き、面接は先生と何度も練習しました。自分の考えを整理し、どんな質問にも芯を持って答えられるよう準備。休日は図書館で集中して勉強し、過去問も活用して理解を深めました。環境選びも大切です。



学校教員養成課程 養護教育専攻 3年 愛知県立一宮興道高等学校出身

先輩メッセージ

Senior Student Message

Q1 なぜ愛知教育大学を選びましたか？

Q2 どんな受験対策をしましたか？



教育支援専門職養成課程 心理コース2年 愛知県立一宮西高等学校出身

A1 将来安心して職に就くための準備ができる

子どもが好きで教育に関心があり、心理職を目指す自分にとって、心理学と教育学の両方を学べる環境は理想的でした。学校体験活動を通じて教育現場を体験できる点も魅力で、将来安心して職に就くための準備ができると感じたことが進学を決め手です。

A2 他大学の類似問題にも挑戦

共通テスト対策では、苦手分野を重点的に伸ばし、模試形式の参考書でテスト方式に慣れるよう努めました。二次試験では過去問を解き、先生に添削してもらい、他大学の類似問題にも挑戦。教育系や心理系の本を読むことで総合問題にも対応できる力を養いました。

A1 幅広い学びで興味のある分野を見つけられる

オープンキャンパスに参加し、福祉分野を幅広く学べることを知ったのがきっかけです。子どもや障害、高齢者、地域分野まで幅広く学び、4年間で自分の興味のある分野を見つけられる点に魅力を感じました。少人数で実践的な授業を主体的に受けられることも決め手でした。

A2 福祉分野に対する自分の意見を持つ

福祉分野で興味のある事柄やニュースを深く学び、自分の意見を持つようにしました。共通テスト対策では過去問を繰り返し勉強し、満足のいく点数を目指しました。友人と励まし合い、先生から温かい指導を受けながら、受験の苦しさを乗り越えることができたと思います。



教育支援専門職養成課程 福祉コース3年 愛知県立豊橋南高等学校出身



教育支援専門職養成課程 教育ガバナンスコース2年 私立栄徳高等学校出身

A1 さまざまな角度から教育を学べる

教員になるための学習だけでなく、教育行政や教育委員会、市町村、文部科学省など、様々な角度から教育について学べる点に魅力を感じました。教育だけでなく法学や社会学、諸外国のことなど幅広い分野を学べること、公務員になるためのサポートがあることも進学を決め手です。

A2 幅広く学ぶ姿勢が役立つ

共通テスト対策を徹底し、教育の流れやトピックスを調べて自分の考えを整理しました。基礎的な知識の復習や赤本を使った演習も重視し、教育関連の英文問題にも取り組みました。教育について幅広く学ぶ姿勢を持つことが、受験勉強にも役立ったと感じます。